

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 1 年
授業者氏名 横井 聡	
題材名 ぽっこさんにパタカラ体操を伝えよう！	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 「パタカラ体操」を保育園児に伝えようと準備し発表した子どもたちが、相手に伝わる声の出し方や見せ方に着目しながら自分たちの発表の動画を見てふり返ることを通して、自分たちの願いが達成できる発表になるにはどうしたらよいのか考えることができる。	
学習材 「パタカラ体操」映像とキャプチャ画像、それぞれのチームの作成物	
成 果 子どもたちは共に歯みがきをしたあとでパタカラ体操の発表をすることができた。担任が制作物を持ち忘れてしまったが、機転を利かせて口のお手本をよく見せて、言葉でしっかりと伝えることができた。園児と楽しく歌い終えることができた。子どもたちの中には、他の園にもパタカラ体操を伝えたいという意識が芽生えている。歯みがきについては、一緒に取り組んだだけではあるが、園側としては、普段から歯みがきをしておらず、良い機会になったと好感触であった。	
課 題 大きな成果を求めすぎず、伝えることができた子どもたちが達成感を得られることをまずは目指していきたい。 歯みがきについても、子どもたちから発信をして、その良さを自他ともに考えられるよう、引き続き取り組みたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 2年
授業者氏名 星野こず恵	
題材名 歯にいいおやつについて考えよう	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 畑で収穫した大豆、さつまいも、じゃがいもを使って、歯にいいおやつを作りたいと考えている子どもたちが むし歯になる理由や、歯によい食べ物の条件に着目し、 栄養士のお話を聞いたり、様々な食品の絵の中から歯によいおやつを見つけたりすることを通して、 自分たちで作ることが可能な歯によいおやつ作りの計画を立てることができる。	
学習材 栄養士の話 「むし歯になるのはなぜ？」「ばい菌が大喜びするおやつは？」「歯にいいおやつ」 様々な食品の絵	
成 果 2年生は、5月に畑で育てる作物を決める際に、「歯によいおやつを作りたい」という意見が出て、大豆とさつまいもとじゃがいもを育ててきた。これまで漠然と「甘くない物」「堅い物」と考えていた子どもたちだったが、栄養士のお話を聞いて、歯にいいおやつの条件は「お砂糖が少ないもの（自然の甘味）」「歯にくっつきにくいもの」「歯を強くする栄養があるもの」「かみごたえがあるもの」であることに気づくことができた。 その結果、「干し芋」「さつまいもまんじゅう」「いももち」「おからクッキー」を考え、作り方を調べている。今後3学期に向けて調理活動をし、食べた後の口腔内の様子を考えたい。	
課 題 栄養士から、むし歯になりやすいおやつの条件とともにだらだら食べについても教えていただいた。おやつは家庭で食べることが多いので、栄養士の話や子どもたちの活動の様子等を学級通信で伝えるなどして、家庭でも意識して取り組めるようにしたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 3年
授業者氏名 塩澤佑樹	
題材名 「歯みがきの習慣」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 前回の歯みがきチェックの結果を改めて振り返った子どもたちが、学校における歯みがき習慣に着目し、より自分たちが歯みがきを行えるようにするにはどうすればよいかを考えることを通して、歯みがきをさらに習慣づけようとする素地を培うことができる。	
学習材 歯みがきチェックの結果(10月)	
成 果 ・ごちそうさまをする8分前から、「イーハー」の2パターンの動画を流すことが子どもたちの提案として出てきた。2回流すことで、みんなで一緒に歯みがきをするチャンスが増えるのではないかとのこと。 ・実際に取り組み始めてから、歯みがきをするために食べる速さを調節しようとする、前向きな姿勢が見えてきた。また、歯みがきをしている人が近くにいることで、自然と歯みがきをしたくなるような雰囲気生まれている。今までの中で一番子どもたちが歯みがきを大切にしているということが伝わってきた。	
課 題 ・よく噛むことも大切にしていきたいため、食事時間の確保とその指導も平行して行っていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名	本郷小学校	学年	4年
授業者氏名 守屋 久美			
題材名 やさしさ発見富士見町～一本松の皆さんと交流しよう～			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 総合的な学習の時間において、一本松の皆さんとの交流の計画・準備を行った子どもたちが、お年寄りの方々の様子に着目し、視覚的に目立たせたり大きくはっきり話したりすることを通して、誤嚥防止にもつながる「パタカラ体操」のよさや方法を、相手の立場に立ってわかりやすく伝えることができる。			
学習材 ・一本松の皆さんとの出会い			
成 果 何度もリハーサル動画を見返して、お年寄りの皆さんが“だれが何を話しているのか”“どこを見ればいいのか”わかるような動きをしようとお互いに声をかけ合う姿があった。そして、実際の発表場面では「パ」「タ」「カ」「ラ」のそれぞれの効果をイラストを交えて挙げたり、自分たちが行うよりもゆっくりと音楽を流しながら披露したりするなど、わかりやすく伝えることができた。さらに、健康チームが制作した歯の健康にかかわる「健康新聞」を児童自ら届けることもできた。			
課 題 自分たちが「パタカラ体操」をはじめ、三井先生に教えていただいたフロスや歯みがきの仕方など、継続し実践してよかったことを伝えられるように、長期的な活動として取り組んでいく。交流を通して、様々なアイデアを出し合いながら、健康について自分たちが町づくりのためにできることを実践していくことの楽しさに気づいた姿があるので、生かていきたい。			

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 5 年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 噛むことの大切さを知ろう	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、○○に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して (本時の中核的な学習活動)、○○する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。	
主 眼 増田先生のオーラルフレイル予防講演を聞いた子どもたちが、講演で聞いた噛むことのコントロールに着目し、実際に給食でタイマーに合わせて食べてみることを通して、「噛む」という行為の本質について知り、「よく噛んで食べる」ということの大切さを理解することができる。	
学習材 松本歯科大 増田裕次先生講演	
成 果 ・タイマーに合わせると食べづらと感じたことから、「噛む」というあたりまえの行為について考える事ができた。 ・専門家の話を聞き「噛むと健康につながる事が分かった。」「ゆっくりかんで食べることが大切だと知った。」と改めて感じていた子が多かった。 ・「早食いが肥満につながる」と示されたデータを見て、ぽっちゃり隊形の児童が「ゆっくり食べる。」と自分の食べ方を振り返っていた。	
課 題 ・バイトスキャンの結果が出たら、今回の話とつなげていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 6年2組
授業者氏名 小林 未夢	
題材名 自分が普段の食事でのどのくらいかんでいるのか調べよう	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 よくかんで食べることの大切さについて学習してきた子どもたちが、食事中的かむ回数に着目し、バイトスキャンを使って、一回の食事でのどのくらいかんでいるのかを調べることを通して、普段の食事の取り方を見直そうとする力を培うことができる。	
学習材 バイトスキャン	
成 果 自分の噛んだ回数を認識しふりかえることができた。 友だちの結果をみて、回数がすくない子に対してよくかんで食べることを促したりする姿が見受けられた。	
課 題 普段の給食の時間よりも長く喫食時間をとったことによってゆとりが生まれ、かむ回数に意識して食べている様子もあった。普段の給食の時間にもゆとりが必要。	